

病院長就任の挨拶



病院長
赤木 秀治

東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまに対して謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。また、当院は可能な限りの支援を表明致します。

さてこの度、山本忠生前病院長ご退任の後を受け、平成23年4月1日より病院長に就任いたしました。当院は平成17年に現在の新病院へ移転しましたが、私はその翌年の平成18年に島崎靖久先生、寺尾賢秀先生とともに副院長を拝命し、約5年間さまざまな経験や勉強をさせて頂きました。そして、昨今、地域医療の崩壊、あるいは自治体病院の経営の困難さなどが指摘されているこの時期に病院長を拝命致しまして、責務の重大さに身の引き締まる思いです。

当院の平成23年度の事業計画に於いて、私たちは「住民に信頼されるより良い医療の提供を目指して」を主題として、そのための最重点取り組みとして、全員参加の健全な病院運営を挙げました。また、主要取り組み項目としては、病院の活性化と効率的な運営、良質な医療の提供を挙げました。当然ですが、私はこの計画をそのまま踏襲致します。

この事業計画を実現するためには第一に、当院の人材の有効活用と医療施設・医療機器のさらなる有効利用を計ること、第二には、地域の医療機関との病診連携、病々連携をさらに推進して互いの信頼関係をより強固にして地域に還元すること、が必須と思います。

具体的には、各大学医局との関係を保ち優秀な指導医や研修医を確保すること、職員の適正配置とインセンティブ制度の導入による病院の活性化と経営の効率化を計ること、またチーム医療の推進、4疾病5事業の推進、医療相談の充実、医療施設・医療機器の共同利用、地域医療支援病院の取得、地域連携バスの普及、地域医療機関参加型の研修会の充実などを重点的に取り組みます。また、地域医療連携室の機能もより充実させ、地域の住民や先生方のご要望に十分添えますように努力致します。

当院は先日、病院機能評価機構バージョン6の認定を取得しました。このことは当院の病院機能が優秀で充実していることと、それに向けての取り組みが評価された結果であり大変喜ばしいことですが、その他にも救急告知病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、和歌山県災害拠点病院、へき地医療拠点病院、第2種感染症指定医療機関、基幹型臨床研修指定病院(医科)、単独型臨床研修指定病院(歯科)、洋上救急協力医療機関に指定されており、多くの学会の認定施設にもなっています。また7:1看護体制も整備しております。

これらの機能を十分に活用し、また地域住民や地域医療機関と共有していくことが「住民に信頼されるより良い医療の提供」に繋がり、さらには病院の活性化と効率的な運営に繋がるものと思っています。

その為に今後も全職員が全力で取り組んでまいりますので、皆様方のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



事務局長就任挨拶



事務局長
釣本 博之

このたび木本祥司前事務局長の後任として就任いたしました釣本博之です。

私は、昭和55年4月に看護師として採用され中央手術室で16年、新庄別館第一病棟で2年、透析室で1年の勤務を経て、事務職となり、以来12年経過しました。

12年の歩の中で、オーダーリングシステムの導入、電子カルテの導入、それに新病院建築・移転とビッグプロジェクトの一員として参加させてもらい、「しんどかった」当時の事も、今となっては良き思い出となりました。

昨今では、入院医療費の計算方法もDPC（診断群別定額支払い方式）方式となり、レセプト請求もIP-VPN接続（インターネットを経由せず閉域IP網を利用し、当院と審査支払機関を接続。）でのオンライン請求となりました。ここ数年で様々な分野でIT技術が導入され、携帯電話もスマートフォンが台頭しホテルの予約に電車・バスの予約までも出来るようになりました。

我々の関連する分野においても社会保障番号の導入も検討されるようになり、保険証の確認や誤入力の防止、医療費の限度額も確認でき患者さま自身の手続きが簡略化され、理想的な方向へ進もうとしています。政局が不安定なためいつ制度化されるかわかりません。

これまで公私共に様々な貴重な経験ができましたのは、何と言いましても素晴らしい職場とかけがえのない先輩や上司・同僚に出会えたことに尽きると痛感しております。

これからも、新しい出会いを大切にしながら、病院全体が明るく、職員が働き易く、当院の理念であります「やさしく、信頼される医療」を目指すとともに、地域の皆様から選ばれ信頼され愛される病院を念頭に置き、事務局長として病院を支えられるよう精一杯頑張っていきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	：〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	：〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	：〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	：〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	：〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	：〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	：〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	：〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	：〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	：〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■ 本 社 〒640-8287 和歌山県和歌山市手平 3-8-43 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■ 田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町 2744 番地 TEL. 0738-25-4535 FAX. 0738-25-4578
■ 大阪支店 〒595-0012 泉大津市北園中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■ 新宮営業所 〒647-0072 新宮市橋本 20番22号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■ 阪大前営業分室 〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺 768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■ 奈良営業所 〒632-0082 天理市荒井町 56番地の4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810

地域医療連携だより



消化器科部長
木村 りつ子

平成23年4月1日より、木村りつ子消化器部長が地域医療連携室長に就任致しました。今回の地域医療連携だよりは、新室長の挨拶文を掲載させていただいています。新室長のもとスタッフ一同気持ちを新たにして地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、引き続きのご厚誼とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



挨拶文

謹啓 向春の候、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素より格別のご愛顧を賜り、誠に有難うございます。さて、この度平成23年4月1日付けをもちまして、地域連携室室長に就任いたしましたので、ごあいさつを申し上げます。

当院では平成14年より地域医療連携室を設置し、かかりつけ医の先生方との連携を大切にした診療をこころがけております。ご紹介いただいた患者さまには、待ち時間などにおいてできるだけスムーズに受診していただけるようFAX事前外来診療予約システムを導入し、また、患者さま - 地域の先生方 - 当病院 - 他施設等4者間の連絡・紹介・診療予約などにつきましては医療ソーシャルワーカーが中心となって、連携業務をお手伝いさせていただいております。

また当院は平成18年8月24日付けで「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、地域におけるがん診療の連携・支援を推進するための拠点として認定を受けました。高度のがん診療能力を提供し地域に貢献する拠点病院として役割を果たしていきたいと思っております。併せて緩和ケアチームが様々な身体的な苦痛（痛み、息苦しさなど）や精神的な苦痛（不安、不眠、抑うつなど）を和らげる治療を行っています。看護師や心理療法士などがチームとなって、がんの不快感の緩和や、療養中のちょっとした不安などのご相談にも対応しております。また一般患者さんの相談窓口として、診療に対しての不安や疑問・悩みに耳を傾け、退院後の生活援助等に迅速に対応できるよう努めております。

当院は今後も地域住民の方々の期待と信頼に応え、日夜安心して医療が受けられる基盤作りのために、地域の先生方そして病院、各種療養施設、居宅支援事業者などとの更なる連携強化を目指し、担当者一同取り組んで参りますので、何卒ご指導ご教示の程、よろしくお願い申し上げます。

謹白

看護学校だより

卒業式 平成22年3月4日に第34回生28名が卒業しました。就職状況は以下のとおりになっています。新しい職場での活躍を期待しています。県内18名 県外6名 助産学科への進学3名です。



入学式 平成23年4月7日、午前中の曇り空はすっかりと晴れ、春の日差しの注ぐ中、第37回生の入学式を迎えることができました。今年度は女子23名、男子7名、計30名が入学しました。1年生の大村優さんが3月に起きた東日本大震災での地震や津波の怖さから災害看護や救急看護などを学び、人のために役立てたいこと、また、仲間と支えながら頑張っていきたいと宣誓の言葉を述べました。歓迎の言葉は、2年生向井瞳さんが、看護師になるという夢と希望を持ち続け、ともに頑張っていきたいと述べました。新しい環境に慣れるまでしばらくかかりますが、看護師をめざして頑張ってもらいたいと思います。

お知らせ 当校では、5月6日(金)に看護の日(5月はナイチンゲールの誕生日)として、幅広い知識や経験から看護に関連させて自己を振り返る機会にするため、学校の講堂で講演会の予定です。演題は未定です。



病院のまど

第30回市民健康講座について

最近、テレビや新聞で健康食品やサプリメントの広告をよく見かけます。健康に良いと聞くと、ついつい試してみたくくなります。でも、本当に健康に良いのでしょうか？特に薬を飲んでいる場合、一緒に服用しても問題がないのでしょうか？今回は、医薬品と健康食品と題しまして、講演を行います。この機会に、医薬品と健康食品の違いや相互作用について一緒に勉強してみませんか。

日 時	平成23年5月8日(日)
時 間	午後2:00~3:00
演 題	医薬品と健康食品 ～薬と食・嗜好品の相互作用～
演 者	那須 明弘 (紀南病院 薬剤部長)
会 場	紀南病院 3階講堂

第29回市民健康講座について

今回の市民講座は「浮腫」と題しまして、当院病院長(当時)山本忠生が講演をしました。浮腫とは要するに「むくみ」のことですが、なかには腎臓や心臓など内臓の病気が原因で起こることもあるので、症状が続くようだと受診された方がよいことを、分かりやすく説明しました。皆様熱心に聴講されていました。



病院機能評価Ver6.0の認定を受けました。

当院は、和歌山県南部の中核病院として、地域の皆様により良い医療を提供するために充実した医療機能を整備しなければなりません。これまでも様々な取り組みにより病院機能の充実向上を図ってきましたが、より一層のレベルアップを図るため、この度、財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver6.0)の審査を受けました。改めて自らの機能を見つめ直し、Ver6.0で要求されるレベルにまで引き上げるよう努力をし、平成23年3月4日に更新認定を取得することが出来ました。

医療機能評価機構認定病院として、今後とも紀南地域の医療の発展に貢献していきますので、より一層の御支援をよろしくお願いいたします。

基本理念

私たちは、患者さまに優しさをもって接し、皆様から信頼される医療を目指します。

紀南こころの医療センター

やさしさをもって、信頼と満足の得られる医療を行います。

社会保険紀南病院

〒646-8588 和歌山県田辺市新庄町 46-70

Tel 0739-22-5000 Fax 0739-26-0925

<http://www.kinan-hp.or.jp>

編集後記

早いもので、もう2回目の編集後記です。病院長の交代と共に、新体制が発足しました。

それにしても、「光陰矢のごとし」この言葉ほど最近実感出来る言葉はないと言ってもいいくらいです。

若い時よりも、さらに早く過ぎて行くと感じてしまうのは私だけでしょうか？

自分が、病院に勤務し始めた時を未だに鮮明に覚えています。今と違い何もかもが《手》でした。

手書きカルテ、医療費の計算もそろばん弾いて…。外来応援の前日に薬の薬価を必死になって暗記したりして…。今、この話をしても共感してくれる職員もかなり少なくなりましたが(笑) Y・H